

科目名 Subject	エステティック理論 Esthetics Theory			教員名	エステチーム	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○	○		
科目の概要	フェイシャルエステティック・エステティックⅠ・エステティックⅡで学んだエステティックに関わる基礎的な知識と技能を学ぶ。エステティシャンセンター試験（実技試験・筆記試験）に合格できる知識（皮膚科学・解剖生理学・栄養学・運動生理学・心身生理学・衛生管理学・カウンセリング）を学ぶ。エステティックに関する知識と技能を習得することにより、カウンセリング力を身につけ、お客様の多様な考えやお悩みを理解し受け入れる力を身に付ける事が出来る。お客様の要望やお悩みを課題としてとらえ解決する能力を養い、トリートメントプランの組み立てや、スキンケア・食生活・生活面でのアドバイス方法を学ぶ。					
授業方法	対面授業を基本とし状況によってオンライン授業実施もありうる					
授業の目標	エステティックに関わる基礎的な知識を理解し日本エステティック協会のエステティシャンセンター試験（実技試験・筆記試験）に合格できる。カウンセリング力を身につけモデルに合ったトリートメントプランの組み立てや、モデルに合ったスキンケア・食生活・生活面でのアドバイスができる。					
時間外学習 （予習・復習）	授業で学んだことを復習し、次の授業の内容を確認し、教科書等で予習すること。 授業では教科書等の内容が理解されていることを前提として、授業を開始致します。 理解するためには、各回60分程度の予習と復習がされていることを想定します。					
教科書・教材	教科書		新エステティック学 理論編Ⅰ、日本理容美容教育センター（保健）、教員作成資料、配布プリント			
	教材		なし			
	使用設備・備品		フェイシャル実習室、全身美容実習室			
	参考文献		なし			
評価方法	実技試験、筆記試験 授業を通しての学習意欲。平常点20%（小テスト、提出物等含む）、試験80%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。 ※①～④の認定エステティシャン資格取得の為にはフェイシャルエステティック・エステティックⅠ・エステティックⅡの履修が必要。					
本科目履修と関連する資格	資格名	①日本エステティック協会 認定エステティシャン資格 ②日本エステティック業協会（AEA） 認定エステティシャン資格 ③特定非営利活動法人 日本スパウエルネス協会 認定エステティシャン ④一般財団法人 ICAM JAPAN 認定エステティシャン				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション エステティック概論（心構えと健康美）を理解する	エステティックの本質とエステティックの領域を理解し的確に回答できる。	予習：教員作成資料（エステティック概論）の確認
第2回	エステティックカウンセリング（手順方法）を理解する	一人ひとりの悩みや要望にあったカウンセリングを体験し実践できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（カウンセリング）の確認
第3回	栄養学（基礎知識）を理解する	栄養学の基礎知識を身につけ的確に回答できる（栄養素の種類を理解する）。	前回の復習と予習：教員作成資料（栄養学）の確認と1週間の自分の食事記録をつける
第4回	関連法規（基礎知識）を理解する	エステティックに関係する関係法規と消費者契約法について理解し的確に回答できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（カウンセリング）の確認
第5回	衛生管理（消毒方法の基礎知識）を理解する	サロンで実践される消毒方法を身に付ける。機器や備品の正しい消毒法を理解し、実践できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（消毒と衛生）の確認
第6回	救急法（基礎知識）を理解する	正しい救急法と応急手当や一次救命処置を理解し、実践できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（救急法）の確認
第7回	皮膚科学（皮膚の構造）を理解する	皮膚の構造と各付属器官を理解し、述べることができる。	前回の復習と予習：教員作成資料（皮膚科学）の確認
第8回	皮膚科学（皮膚の働き）を理解する	皮膚の構造と各付属器官を理解し、述べることができる。	前回の復習と予習：教員作成資料（皮膚科学）の確認。自宅でのスキンケア方法を記録する。
第9回	皮膚科学（スキンケア方法）を理解する	肌タイプの理解と肌タイプに合った正しいスキンケア方法を理解し応用できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（皮膚科学）の確認
第10回	解剖生理学（身体の機能）を理解する	身体の各器官の働きを理解し、述べるができる。	前回の復習と予習：教員作成資料（解剖生理学）の確認
第11回	解剖生理学（身体の器官）を理解する	身体の器官の名称や神経の働きについて理解し、述べることができる。	前回の復習と予習：教員作成資料（解剖生理学）の確認
第12回	化粧品学（化粧品成分の種類と成分と選定方法）を理解する	化粧品成分の種類を理解し、述べるができる。肌の状態に合った化粧品成分を選択できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（化粧品学）の確認。自分で使用しているスキンケア化粧品の主成分を記録する。
第13回	フェイシャル技術理論（フェイシャルマッサージ基礎知識）を理解する	手技の効果と注意点や禁忌事項を理解し実践できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（マッサージ技術、機器の特徴）の確認
第14回	ボディ技術理論（ボディマッサージ基礎知識）を理解する	手技の効果と注意点や禁忌事項を理解し実践できる。	前回の復習と予習：教員作成資料（マッサージ技術、機器の特徴）の確認
第15回	ワックス脱毛技術理論（毛の仕組み）を理解する	毛の仕組みやヘアースイクルや様々な脱毛方法が理解し、述べるができる。	前回の復習と予習：教員作成資料（ワックス脱毛技術）の確認